Combi

コンビ ベビーカー

ディアクラッセ オート4キャス
XY-600　XY-500
取扱説明書

品質保証書付

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■本書は大切に保管してください。
■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。
■本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

安全基準A型
（1ヵ月〜36ヵ月ころまで）

イラストは XY-600

もくじ

はじめに

ベビーカーの使いかた

部品の取り付けかた・はずしかた

その他

ご使用の前に

●この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。

●望ましい連続使用時間：2時間以内（ただし、7ヵ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内）

●使用できるお子さまの月齢：生後1ヵ月※以上36ヵ月ころまで（お子さまの体重の目安15kg以下）

※生後1ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヵ月経過したお子さまを示します。

開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。

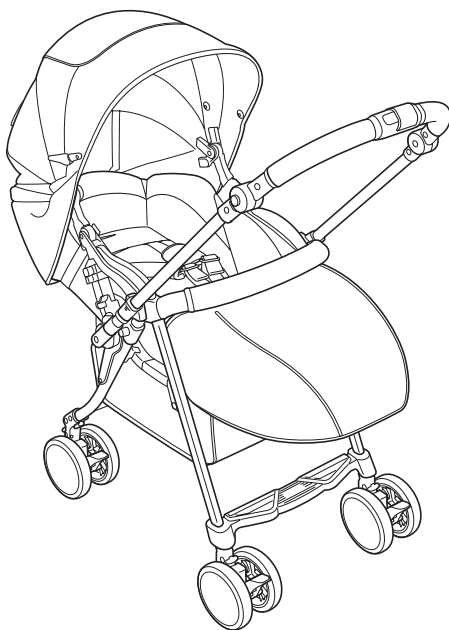
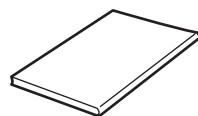
箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

●ディアクラッセ オート4キャス 本体
●幌
●足カバー・肩ベルトカバー（XY-600のみ）
●取扱説明書（本書）
●ダッコシートα（ヘッドサポート、ボディ＆おしりサポート）
●エッグショックパッド（ヘッドサポートに内蔵）

・ヘッドサポート

ディアクラッセ オート4キャス 本体

・エッグショックパッド
（ヘッドサポートに内蔵）

・ボディ＆おしりサポート

取扱説明書（本書）

●組み立てる前に、34ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。

① ロットNo.（後脚後側から見て右のパイプに貼ってあるシールに記載されています。）
② お客様のお名前・ご住所・電話番号
③ 販売店名

●領収書（レシート）を本書といっしょに保管してください。

安全にご使用いただくために

●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。

●ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の２つに区分して示してあります。
安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

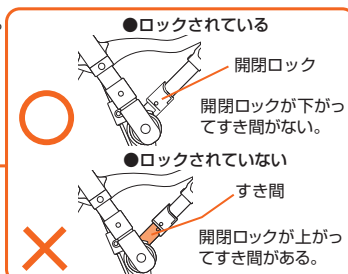
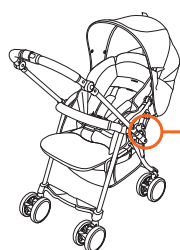
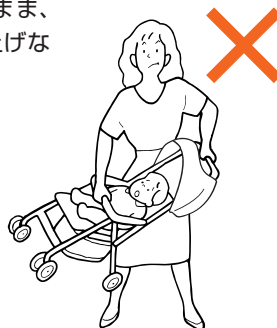
●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

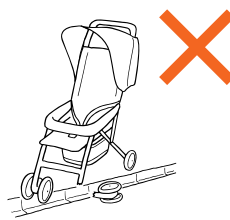
⚠	警告 / 注意を促す内容があることを告げるものです。
✕	禁止行為であることを告げるものです。

	補足説明

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

●開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。

●お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。

●階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。

●破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。

お子さまが落ちるおそれがあります。

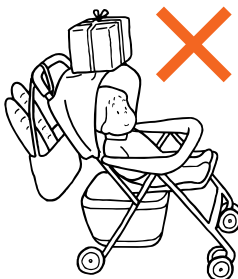
●すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。
腰ベルトをバックルに取り付け後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。

●お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目を離さず、十分注意してご使用ください。

●お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

●お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにつるすと不安定になり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。

●ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまを着脱シート以外のところに乗せないでください。また、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。

●ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。

●ハンドルを切り替えるときは、必ず４ヵ所ともキャスターのロックを解除してください。

ロック

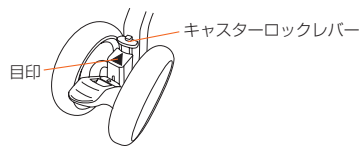
●坂道ではハンドル切り替え操作を行わないでください。

●ハンドル切り替え中にベビーカーを動かさないでください。

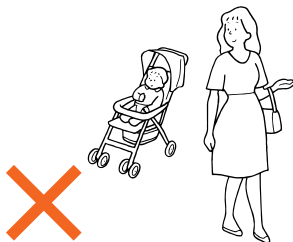
●背面状態では、後脚スライダーに触れないでください。

●お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。

●ハンドルを背面に切り替えた後は、左右の後脚スライダーが下がっていることを確認してください。

●使用する前やハンドル切り替え後、押す人側のキャスターの目印がキャスターロックレバーと向きあい、キャスターが確実に自動ロックされていることを確認してください。

ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

●ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。

●お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。

●ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

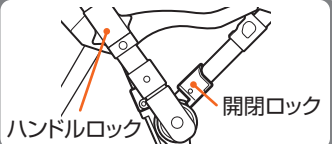
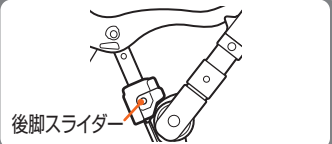
お子さまがケガをするおそれがあります。

●ベビーカーの開閉やリクライニング操作時は、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。
指や手をはさんだりするおそれがあります。
●幌を開いたり折りたたんだりするときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。
指や手をはさんだりするおそれがあります。
●ハンドルを切り替えるときは、お子さまがアームレストに手をかけていないことを確認してから行ってください。
指や手をはさんだりするおそれがあります。
●着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。 すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
●お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。足をケガするおそれがあります。

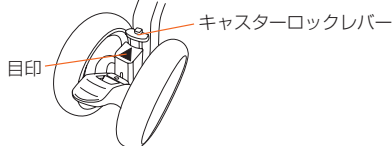
⚠注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

● お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。
目的外の使用では破損などのおそれがあります。
● お子さまにベビーカーを操作させないでください。
転倒や思わぬ事故につながります。
● フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。
破損のおそれがあります。
● フロントガードには過度の力を加えないでください。
また必要以上に広げたりしないでください。
● お子さまを乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落ちるおそれがあります。
● おすわりができないお子さまの場合は、リクライニングを倒した状態でご使用ください。
（17ページ参照）
● リクライニングを1番倒した状態でもお子さまが窮屈な場合は、リクライニングを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用方法は寄りかかっておすわりができるお子さまに限ります。
● お子さまの頭がヘッドレストに当たる場合は、リクライニングを1番倒した状態で使用しないでください。
● ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。
破損、故障の原因となります。
● ベビーカーを押すときは走らないでください。
走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
● ハンドルを切り替えるときは、４ヵ所ともキャスターのロックを解除してください。
ロックしたままですと押しづらいだけでなく、ベビーカーが破損するおそれがあります。
● ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。
ベビーカーの破損の原因となります。
● 買い物カゴには、耐荷重以上の荷物を入れないでください。（耐荷重については24ページ参照）
破損の原因となります。
● 段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。
段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
● 危険ですから、むやみに改造、分解をしないでください。
● 線路や排水口などの路面の溝に車輪を取られたり、はさまれないように、溝の部分は車輪を浮かせて進んでください。
● 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
● 風の強いときは使用しないでください。
勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
● 雷のときは使用しないでください。
落雷のおそれがあります。
● 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
● 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での放置、保管は避けてください。
故障や変形の原因となります。
● ベビーカーを横向きに寝かせたり、上に荷物を重ねた状態で保管しないでください。
故障や変形の原因となります。
● ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、キャスターを内向きにロックし、必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが倒れやすくなります。
● ご使用の前に、締結部品などにゆるみがないか確認してください。
ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
● 長時間の使用禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。寝かせた姿勢では2時間以内、すわらせた姿勢では1時間以内で休憩をとるなどしてください。
● バスの中では使用しないでください。
本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
● 電車の中での使用について
本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

各部のなまえ

●幌（XY-500用）
トップウィンドー（幌窓）
窓カバー
エアスルーシステム（通気窓）
●幌（XY-600用）
トップウィンドー（幌窓）
窓カバー
エアスルーシステム（通気窓）
〔手元操作部〕
手元ロックスライダー
折りたたみレバー
ヘッドレスト（ムービングヘッドガード）
幌レバー
ハンドルグリップ
着脱シート
アジャストボタン
アームレスト
ガードボタン（内側･外側2ヵ所）
ガードカバー
足乗せバー
足カバー（XY-600のみ）
ステップ
フロントガード
買い物カゴ
キャスターロックレバー（前後左右）
ストッパー（前後左右）
〔シート中央部〕
肩ベルトカバー（XY-600のみ）
シートベルト（肩ベルト）
バックル
ヘッドサポート通し穴
肩ベルト通し穴
差し込みバックル
シートベルト（腰ベルト）
シートベルト（股ベルト）
股ベルトカバー
●ダッコシートα
• ヘッドサポート
• ボディ＆おしりサポート
ハンドルロック
開閉ロック
後脚スライダー
〔背もたれ部〕
リクライニングバックル
リクライニングベルト
ホック（左右）
エアスルーカバー
エアスルーシステム（背もたれ通気孔）

ベビーカーの開きかた

警告

- ベビーカーを開くときは、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- 使用する前に、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。（図A参照）
- 手元ロックスライダーを必ずロックして使用してください。無意識に折りたたみレバーを握ったときなど、急に折りたたまれるおそれがあります。
- 使用する前に、押す人側のキャスターの目印がキャスターロックレバーと向きあい、キャスターが確実に自動ロックされていることを確認してください。ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。（図B参照）

注意

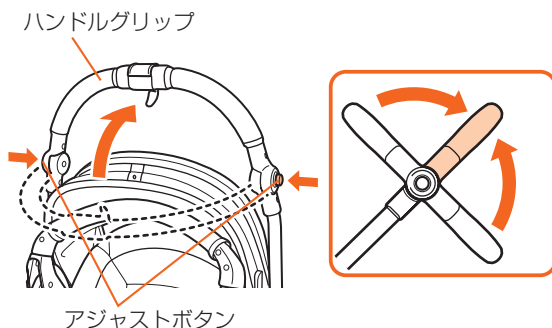
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカーを持ち上げた状態で、折りたたみレバーを握りロックを解除すると、破損のおそれがあります。

本ベビーカーは、2つに折りたたむことができます。

---

1. 左右のアジャストボタンを同時に押しながら、ハンドルグリップをまっすぐの位置に戻す。（「ハンドルの高さの調節のしかた」7ページをご覧ください）

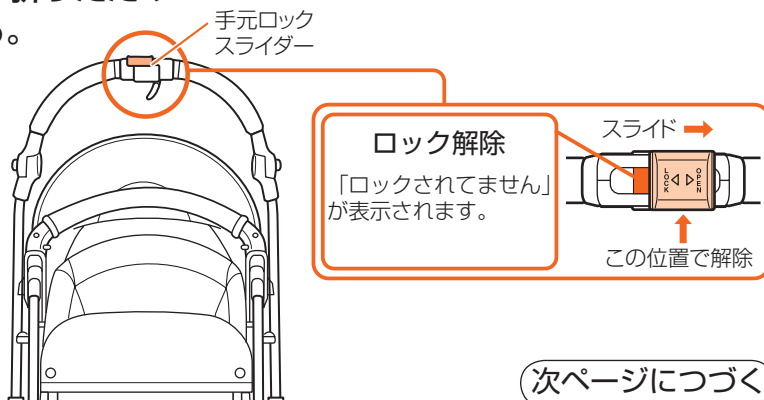
※梱包時は、ハンドルグリップが折り曲げられています。

---

2. 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドし、折りたたみのロックを解除する。

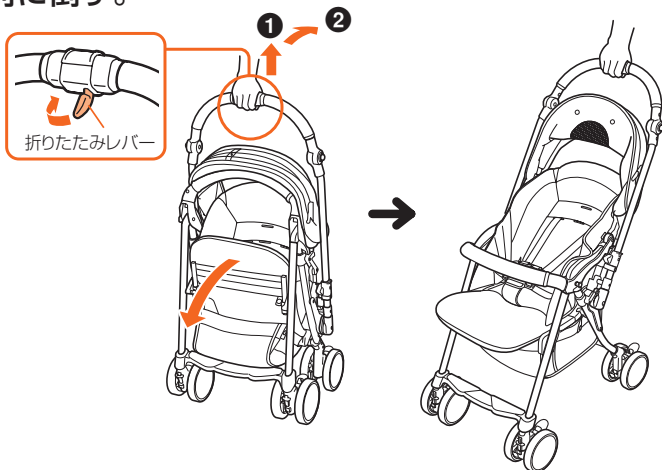
手元ロックスライダー

ロック解除

「ロックされてません」が表示されます。

スライド
LOCK OPEN
この位置で解除

次ページにつづく

3. ベビーカーの後ろに立って、
❶ 折りたたみレバーを握りながら、ハンドルを持ち上げ、
❷ そのままハンドルを手前に倒す。

ベビーカーが完全に開きます。

ベビーカーを地面につけた状態から折りたたみレバーを握り操作してください。ベビーカーを持ち上げた状態では折りたたみレバーを握っても開かないおそれがあります。

4. 手元ロックスライダーを元に戻し、
折りたたみをロックする。

折りたたみレバーがロックされます。

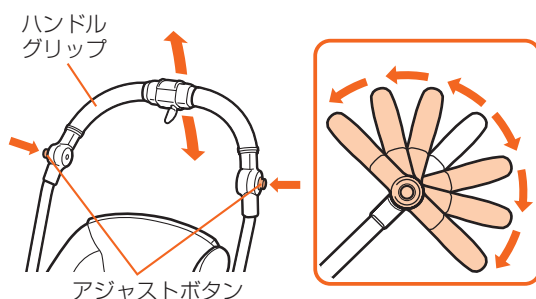
ハンドルの高さ調節のしかた

⚠注意	• 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。 • ベビーカーを折りたたむときは、ハンドルグリップの角度は必ず、元の角度に戻してください。

ハンドルグリップの角度を変えてハンドルの高さを調節することができます。
（ハンドルグリップは11段階の調節ができます）

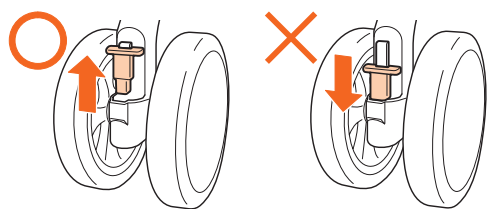
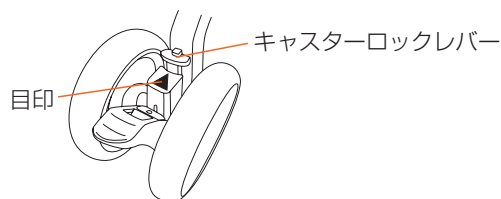
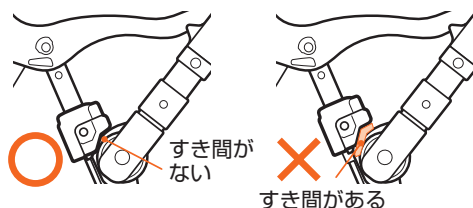
1. 左右のアジャストボタンを同時に押しながら、ハンドルグリップの角度を調節する。

2. 使用する角度でアジャストボタンをはなす。

ハンドルの高さを切り替えた後、ハンドルグリップを上下させても動かないことを確認してください。

対面・背面の使いかた

⚠警告

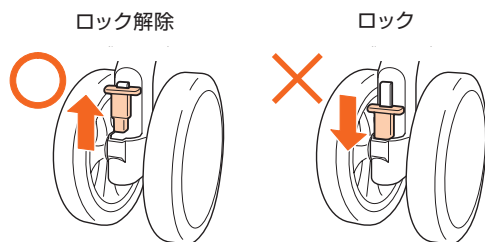
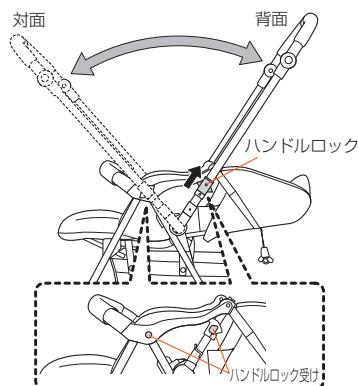
- ハンドルを切り替えるときは、お子さまがアームレストに手をかけていないことを確認してから行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ハンドルを切り替えるときは、必ず４ヵ所ともキャスターのロックを解除してください。押す人側のキャスターが自動ロックされず、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。（図A参照）
- 坂道ではハンドル切り替え操作を行わないでください。4輪ともキャスターがロックされず、思わぬ方向に動き出し、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。
- ハンドル切り替え後、進行方向に少し前進させ、押す人側のキャスターの目印がキャスターロックレバーと向きあい、キャスターが確実に自動ロックされていることを確認してください。ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。（図B参照）
- ハンドル切り替え中にベビーカーを動かさないでください。4輪ともキャスターがロックされず、思わぬ方向に動き出し、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。
- ハンドルを背面に切り替えた後は、左右の後脚スライダーが下がっていることを確認してください。キャスターのロックがはずれ、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。（図C参照）
- 背面状態では、後脚スライダーに触れないでください。キャスターのロックがはずれ、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

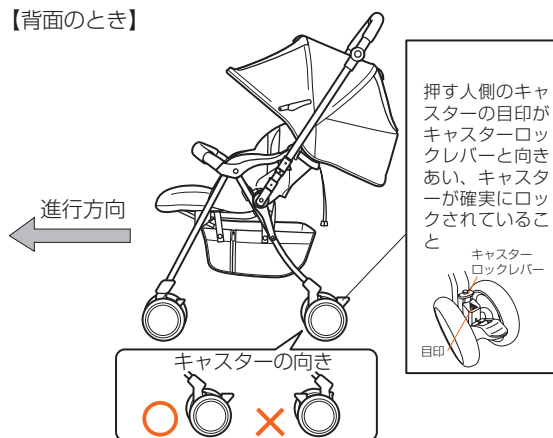
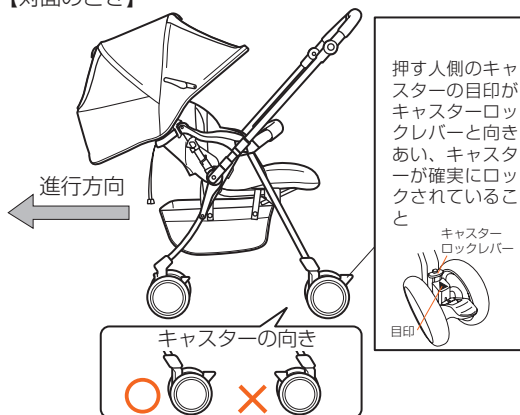
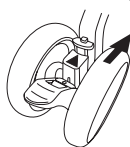
図A　キャスターロックレバーを上げる

図B　押す人側のキャスターの目印がキャスターロックレバーと向き合い、キャスターが確実にロックされていることを確認

図C　後脚スライダーが下がっていることを確認

⚠注意

- ハンドルを切り替えるときは、お子さまの正面側からお子さまのようすを確認しながら、操作してください。
- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。
- 車体を開いたり折りたたんだりするときは、ハンドルロックは操作しないでください。ベビーカーが故障するおそれがあります。
- ハンドルを切り替えるときは、ハンドルグリップの角度を必ず元に戻してください。
- ハンドルを切り替えるときは、必ず4ヵ所ともキャスターのロックを解除してください。ロックしたままですと押しづらいだけでなく、ベビーカーが破損するおそれがあります。

●方向転換がスムーズに行えるよう車輪の向きが変わる機構をキャスターといいます。
●この製品は対面、背面どちらの状態でもハンドルを切り替えることにより自動的に押す人側のキャスターがロックされ、進行方向前方のキャスターが動くようになっています。

ハンドルの切り替えかた

1. ４ヵ所のキャスターロックレバーがすべて解除されていることを確認する。

2. 左右のハンドルロックを上に引上げながら、ハンドルの向きを切り替える。

3. ハンドルロックをハンドルロック受けに確実にロックさせる。

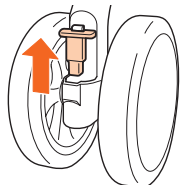
4. 進行方向に少し前進させる。
押す人側の左右のキャスターの向きが変わり、キャスターの目印が見えることを確認する。目印がキャスターロックレバーと向きあい、キャスターが確実にロックされていることを確認する。

キャスターの向きが正しいときは
目印の▲が進行方向を向いています。

ハンドルを切り替えた後、次の点を確認してください。
① 左右のハンドルロックが下がって、ハンドルロック受けにかかっている。
② ハンドルを上下させても動かない。
③ 背面に切り替えた後、左右の後脚スライダーが下がっている。（8ページの警告欄の図Cをご覧ください。）

⚠注意
対面状態では、段差を乗り越えにくい場合があります。
その場合には、ステップに足をかけて前輪を浮かせたり、使用者が先に段差に上がるなどの方法で段差を乗り越えてください。

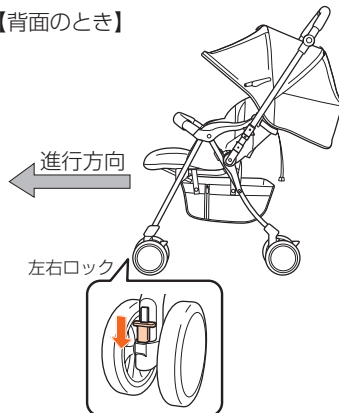
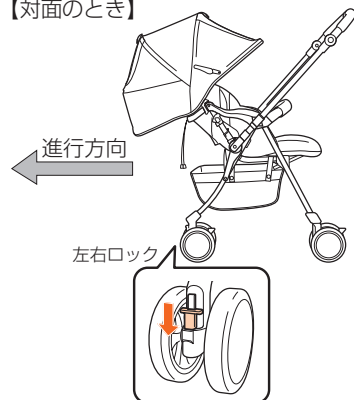
キャスターロックレバーの使いかた

●通常使用時やハンドルを切り替えるときは、必ず4ヵ所のキャスターロックレバーを上げてロックを解除してください。
●坂道や凹凸のある路面では、一時的に進行方向前方左右2ヵ所のキャスターをロックすると押しやすくなります。

キャスターを使用する場合

進行方向左右2ヵ所のキャスターロックレバーを上げ、ロックを解除する。

通常はこの状態でご使用ください。
押す人側のキャスターは自動でロックされます。

キャスターを使用しない場合

進行方向前方左右2ヵ所のキャスターロックレバーを下げてロックします。

・押す人側のキャスターは自動ロックされています。
・手動のキャスターロックレバーは使用できません。

ストッパーの使いかた

警告
• ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
• お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは押す人側の左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

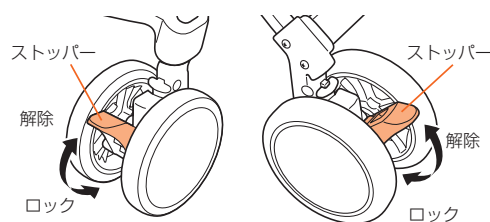
注意
• 空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず押す人側の左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全ですと動き出すことがあります。

ベビーカーを停止させているときには、必ず押す人側のストッパーのロックをかけてください。

ストッパーをロックするとき

1. 押す人側の車輪の左右のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。

ストッパーのロックを解除するとき

ストッパーを押し上げる。

ベビーカーがスムーズに進まないときは、ストッパーのロックがかかっていないか確認してください。

フロントガードの使いかた

警告

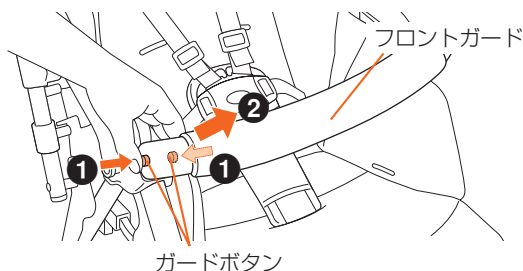
- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
- フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。

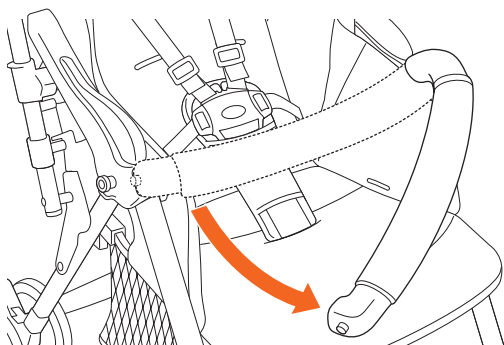
注意

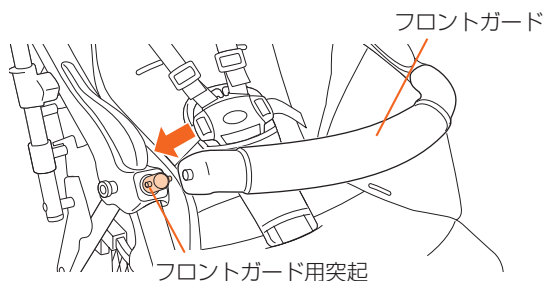
- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのけがの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。

お子さまの乗せ降ろし時にフロントガードを開くと、足などが引っかかりません。

フロントガードを開くとき

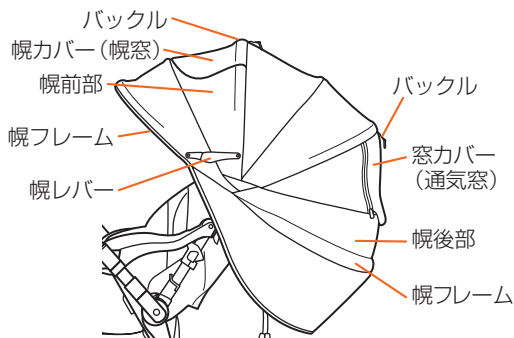
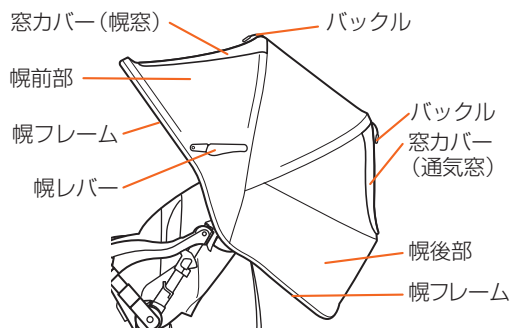
1. ❶ 2つのガードボタンを矢印方向に同時に押しながら、
❷ フロントガードを前方に引き抜く。

2. 手をはなすと、フロントガードは自然に下がります。

フロントガードの開閉ができるのは正面から見て左側だけです。

フロントガードを閉じるとき

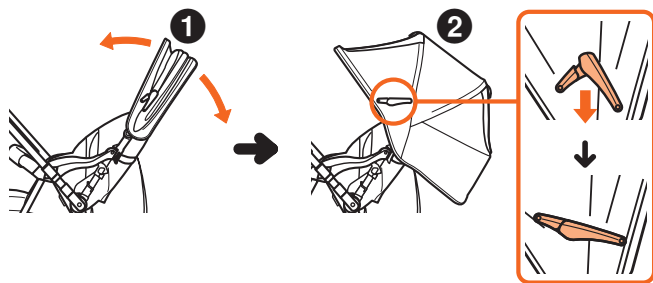
フロントガードをフロントガード用突起にあわせて前から押し込む。

幌の使いかた

警告 幌を開いたり折りたたんだりするときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。

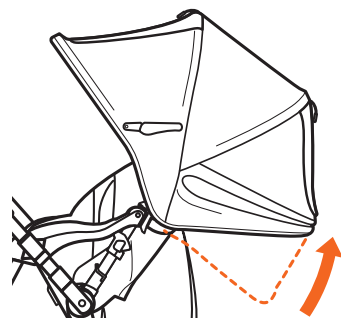
- **幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。折りたたむときは、必ず幌をたたんで後側にまとめてください。**
- **幌の取り付けかたについては、21ページをご覧ください。**

幌各部の名前

幌のサイズを変える

大きなサイズで使用するとき

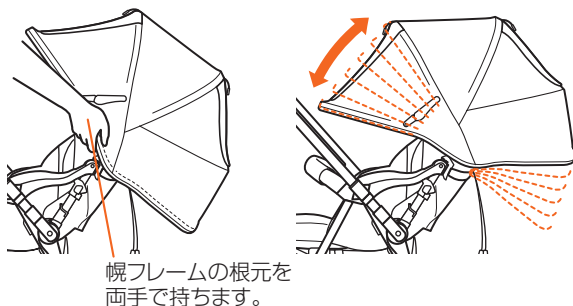
❶前後の幌フレームを持ち、幌を広げる。
❷左右の幌レバーの関節部を押し下げる。

イラストはXY-500

小さなサイズで使用するとき

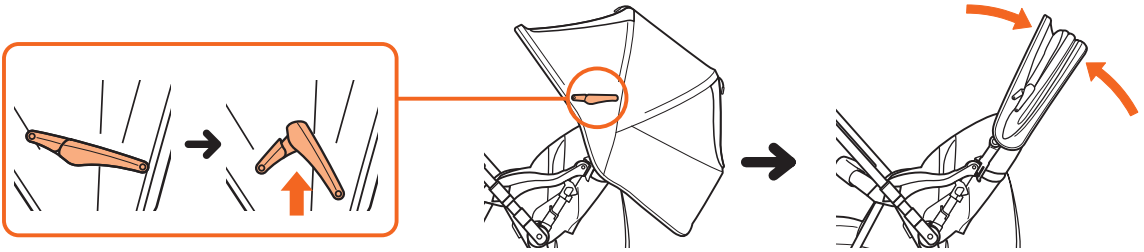
幌を広げた後、後部の幌フレームを上げる。

幌をブラインドとして使用するとき

- お子さまが寝ているときや、日差しの低いときなどにブラインドとして使うことができます。

大きなサイズのまま、両手で幌フレームの根元を持って、前方向に回します。

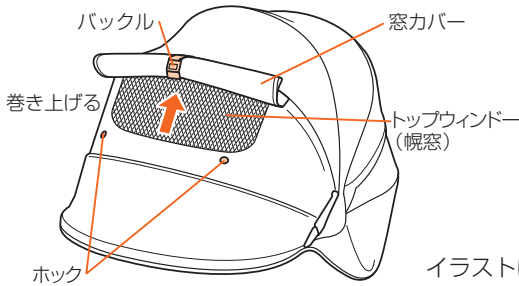
「カチッ」と音がして幌の位置が固定されます。
使用したい位置でとめてください。
このとき幌を前から見て、幌が左右同じ位置でとめられていることを確認してください。

幌フレームの根元を両手で持ちます。

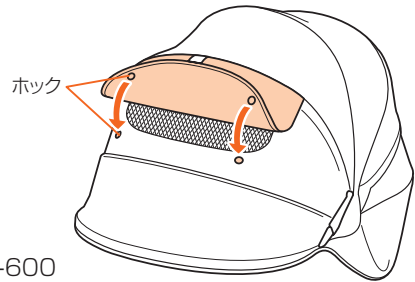
収納するとき

左右の幌レバーの関節部を引き上げ、幌を図のようにまとめる。

トップウィンドー(幌窓)の開きかた

窓カバーを開けると、お子さまのようすを見ることができます。

幌窓を開くとき

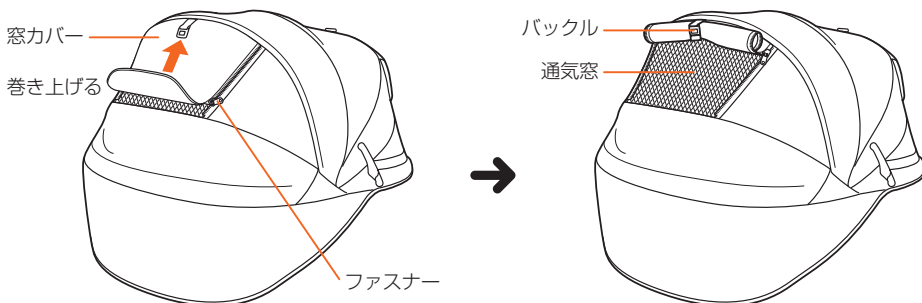
2個のホックをはずし、窓カバーを巻き上げ、バックルでとめる。

幌窓を閉じるとき

バックルをはずし、窓カバーの2個のホックを幌のホックにとめる。

イラストはXY-600

エアスルーシステム(通気窓)の開きかた

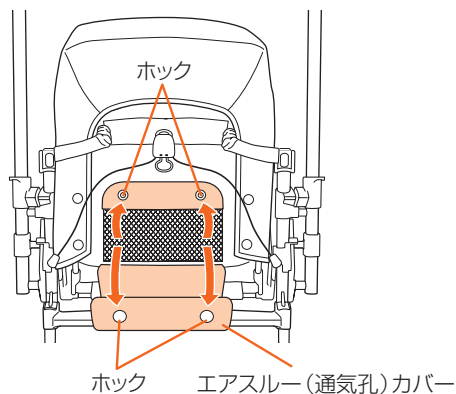
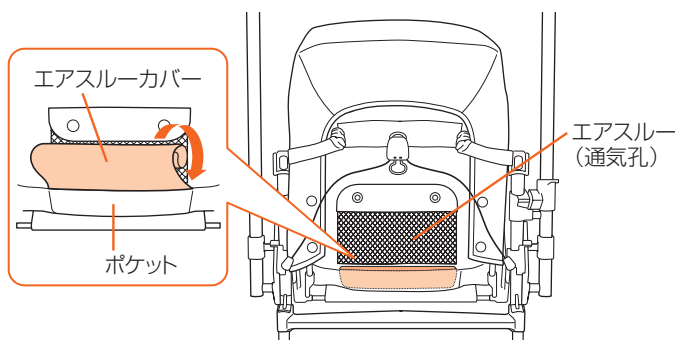
幌後部のエアスルーシステム（通気窓）を使用するには、幌を大きなサイズにします。

・XY-500の通気窓の使いかたは、上記の幌窓と同様です。
　2個のホックをはずし、窓カバーを巻き上げ、バックルでとめます。

・XY-600の通気窓は図のようにファスナーで窓カバーを開け、巻き上げてバックルでとめます。

エアスルーシステム(背もたれ通気孔)の使いかた

●ベビーカーの背もたれ（ベースシート）には、暑い時期やムレるときなどにお子さまが快適に過ごせるようエアスルーシステム（通気孔）が付いています。

エアスルーシステム（通気孔）を開くとき

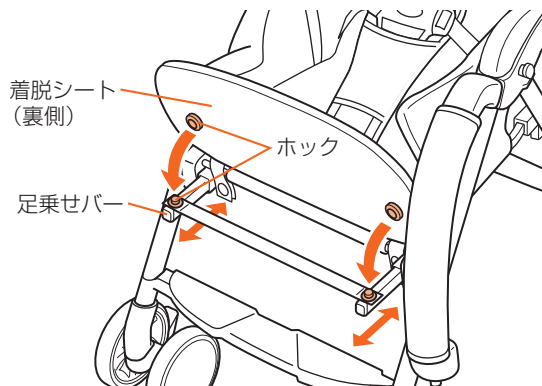
1. 背もたれのエアスルーカバーのホック（左右2ヵ所）をはずします。

2. エアスルーカバーを内側に巻いて、エアスルーの下部のポケットに収納します。

エアスルーシステム（通気孔）を使用しないときは、エアスルーカバーのホックをとめて閉じます。

足乗せバーの使いかた

足乗せバーは、お子さまが寝たときに、楽な姿勢にできます。

使用するときは、必ずホックをとめてください。
破損やお子さまのケガの原因となります。

1. 着脱シートを持ち上げ、座面から足乗せバーを引き出す。

2. 着脱シートをのせ、ホックをとめる。

収納するとき

着脱シートのホックをはずし、足乗せバーを座面の中に押し込む。

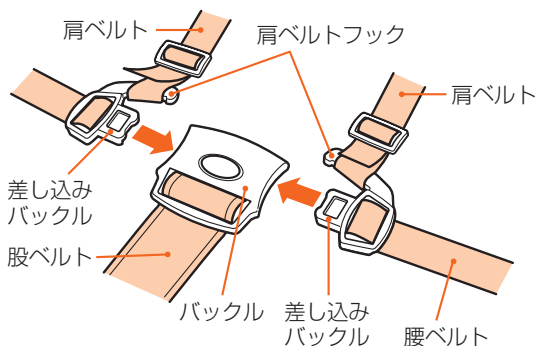
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

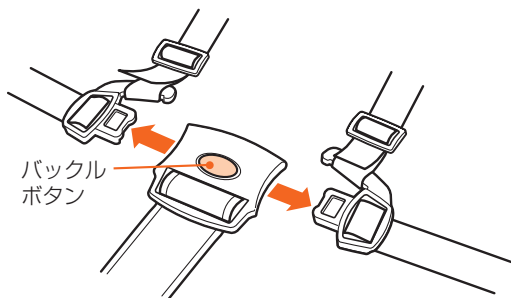
⚠警告
- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体に合わせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

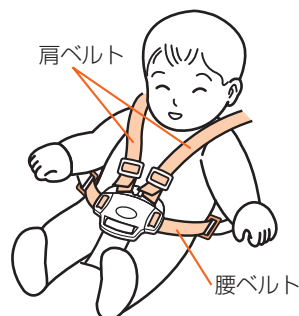
シートベルトとは、股ベルトと腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルトの締めかた、はずしかた

シートベルトを締めるとき

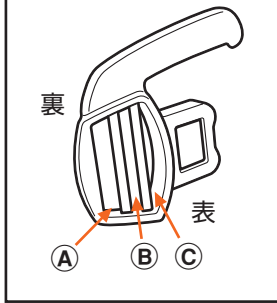
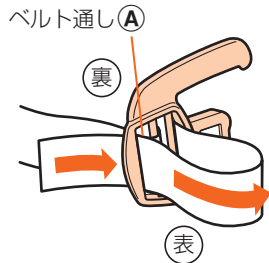
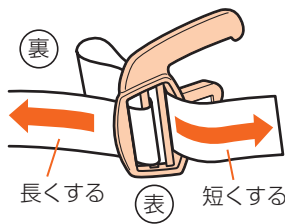
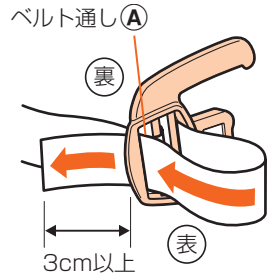
1. **肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック（左右）に引っかける。**
2. **股ベルトを引き出し、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。**
3. **肩ベルト、腰ベルトを引っぱって、はずれないことを確認する。**

シートベルトをはずすとき

股ベルトのバックルボタンを押す。

お子さまへの装着のしかた

1. **お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。**
2. **肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック（左右）に引っかけ､バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。**

- リクライニングを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。
  肩ベルト通し穴の位置を変えるときは、「肩ベルトの取り付けかた」（25ページ）をご覧になり、確実に取り付けてください。
- 長さ調節時に差し込みバックルをはずしたときは、「腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた」（25ページ）をご覧になり、確実に取り付けてください。
  取り付けかたが不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。

シートベルトの調節のしかた

腰ベルトの長さ調節

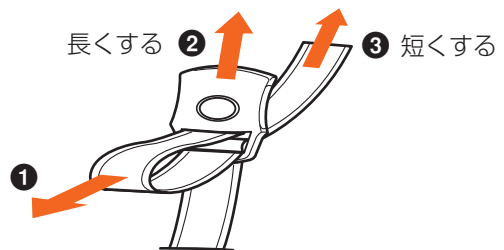
差し込みバックルのベルト通し(ⒶⒷⒸ)

1. バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶからはずす。

2. 腰ベルトを左右にひっぱり、ベルトの長さを調節する。

3. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶから裏側に通す。

こんなときは？

ベルトの調節の目安がわからない
→お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。

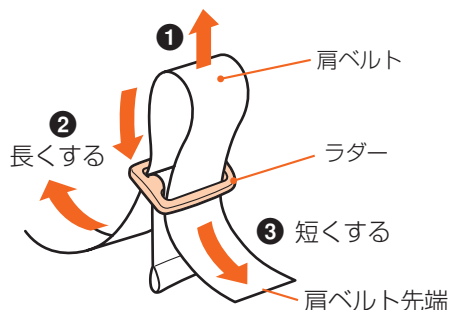
長さを調節後、腰ベルトを強く引っぱり、腰ベルトがバックルから抜けないことを確認してから使用してください。

腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

股ベルトの長さ調節

股ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、❷バックルを引っぱり、短くするときには、❸ベルトの端を引っぱる。

股ベルトは、取りはずしできません。

肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、❷の方向に引っぱり、短くするときには、❸の方向に引っぱる。

ラダーは肩ベルトから、取りはずしできません。

リクライニングの使いかた

⚠警告

- リクライニング操作時は、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

リクライニングの使いかたの目安

●1ヵ月～首がすわるまで
→背もたれは1番倒した状態
●首がすわってから、1人でおすわりができるまで
→背もたれは1番倒した状態から中間位置まで起こした状態
●1人でおすわりができるようになったら
→背もたれは1番倒した状態から1番起こした状態

⚠注意

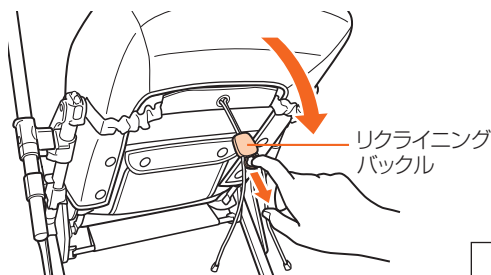
- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。
  思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、他方の手でお子さまの体を支えてください。
- おすわりができないお子さまの場合は、1番倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。

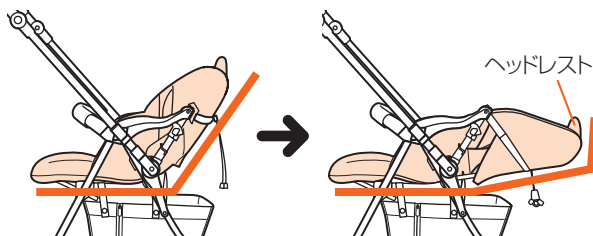
こんなときは？

背もたれを1番寝かせて使うと、シートがせまく感じる
→お子さまがおすわりできる場合に限り、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。

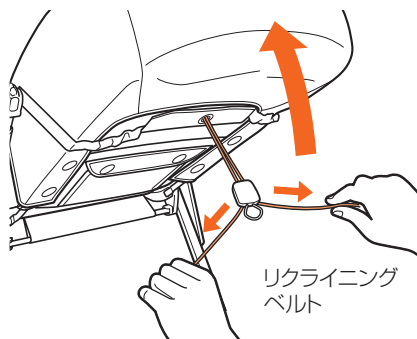
背もたれの倒しかた

※お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
※リクライニングを使うときは、必ず片方の手でお子さまの体を支えてください。

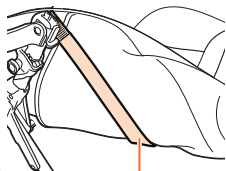
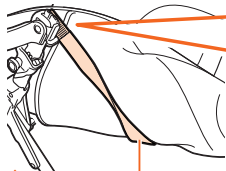
1. 片方の手でお子さまの体を支え、他方の手で、リクライニングバックルの中央リングを引っぱる。

2. 背もたれを倒す。

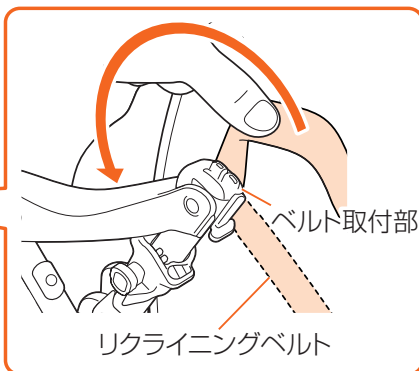
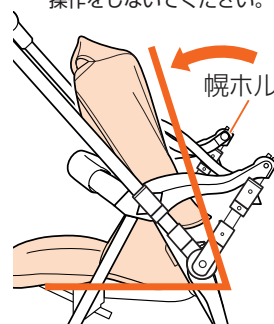
ヘッドレストが起きあがってきます。（ムービングヘッドガード機能）

1人でおすわりができるお子さまでヘッドレストの位置に頭がくる場合には、背もたれを倒したときに無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置でとめてください。

背もたれを起こすときは、お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングベルトを左右に引っぱる。

お子さまの体重を背もたれにかけたままでは、起こすことができません。

こんなときは？

リクライニング操作がしにくい

リクライニングベルトがねじれている場合があります。
ねじれたリクライニングベルトは、以下の手順で直すことができます。
①背もたれを1番下まで倒す。
②ベルト取付部を中心にリクライニングベルト全体をねじれが取れる方向に回す。

折りたたみかた

警告

ベビーカーを折りたたむときは、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。

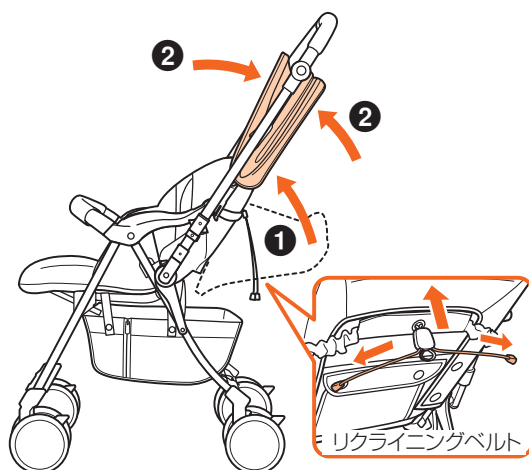
注意

- 手元ロックスライダーは折りたたみ後、必ずロックしてください。また、折りたたみ操作時以外は握らないでください。
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、1度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむときは、買い物カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 折りたたむときは、幌がたたまれ後側にまとめられていることを確認してください。幌の変形や破損の原因になります。
- 折りたたむときは、4ヵ所のキャスターロックレバーをすべて解除してください。キャスターが誤った向きでロックされていると、ベビーカーが開きづらくなり、無理に開こうとすると破損するおそれがあります。

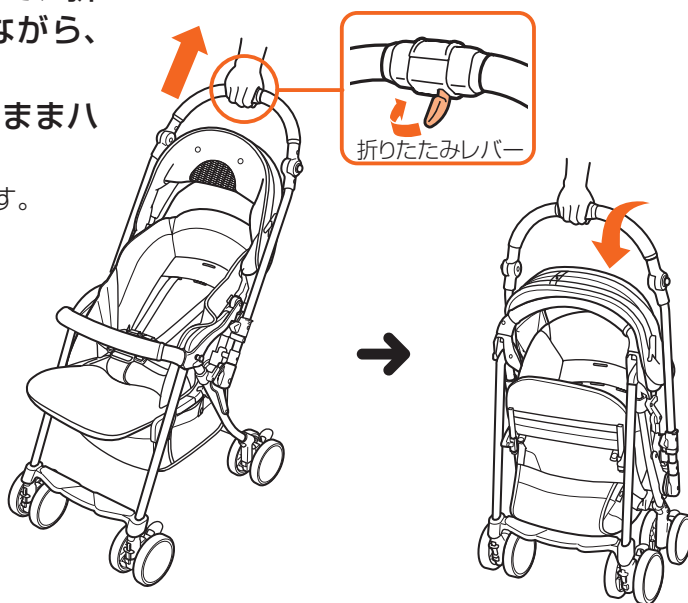
ベビーカーの使いかた

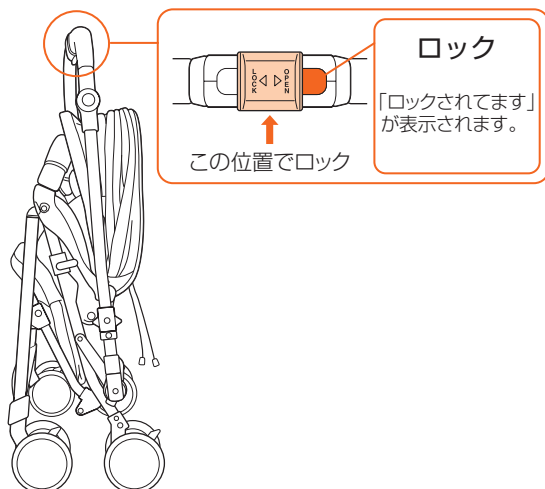
●幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。
折りたたむときは、必ず幌を後側にたたんでまとめてください。
●折りたたむときは、4ヵ所のキャスターロックレバーをすべて解除してください。

1. **❶ハンドルグリップの角度を元の位置に戻す。**
❷4ヵ所のキャスターロックレバーをすべて解除し、ハンドルを背面位置にする。
❸進行方向に少し前進させ、押す人側のキャスターをロックさせる。
（❷、❸については、「ハンドルの切り替えかた」9ページをご覧ください。）

2. **❶背もたれを起こした状態にする。**
（「リクライニングの使いかた」17ページをご覧ください）
❷幌をたたんだ状態にする。
（「幌の使いかた」12ページをご覧ください）

3. 手元ロックスライダーをスライドして、折りたたみのロックを解除する。

4. ベビーカーの後ろに立って、折りたたみレバーを握りながら、ハンドルを引き上げる。十分引き上げたら、そのままハンドルを押し下げる。

ベビーカーが折りたたまれます。

5. 手元ロックスライダーをスライドして、折りたたみをロックする。

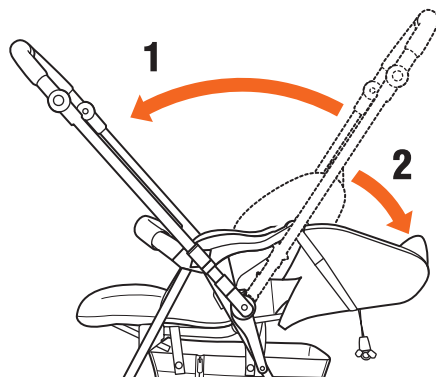
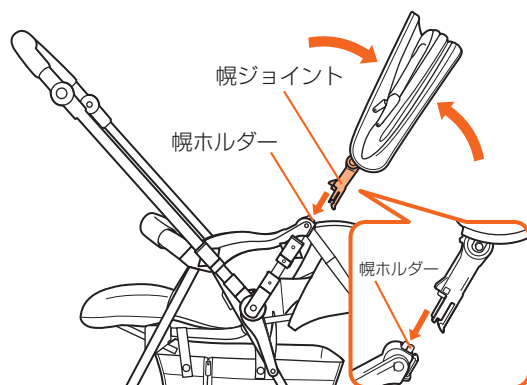
※足カバーを取り付けていても、
　折りたたむことができます。
　（XY-600のみ）

折りたたんだ後、ハンドルグリップを折り曲げると低くなり、収納などに便利です。

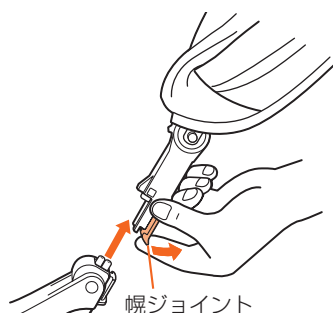
部品の取り付けかた・はずしかた

幌の取り付けかた、はずしかた

取り付けかた

1. ハンドルを対面位置にする。
詳しくは、「対面・背面の使いかた」（8ページ）をご覧ください。

2. 背もたれを1番下まで倒す。
詳しくは、「リクライニングの使いかた」（17ページ）をご覧ください。

3. 幌をたたみ、幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込み固定する。

はずしかた

幌ジョイントの下端のツメを指先で手前に引きながら、幌ホルダーから引き抜く。

足カバーの取り付けかた、はずしかた（XY-600のみ）

⚠注意

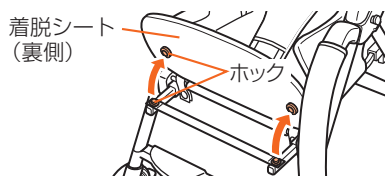
- 足カバーを使用できるお子さまの月齢の目安は、生後1ヵ月以上12ヵ月以内です。身長の目安は80cmまでです。足カバー内で足がつかえるようになったら、使用を中止してください。
- 必ず背もたれを倒し、フロントガードを閉じた状態でご使用ください。
- 足カバーはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。必ずシートベルトを締めてご使用ください。
- 足カバーの上にお子さまや荷物を乗せないでください。不安定となり落ちるおそれがあります。
- 足カバーを持ってベビーカーを持ち上げないでください。足カバーがはずれたりするおそれがあります。

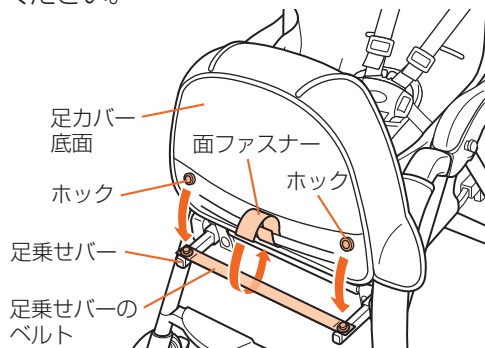
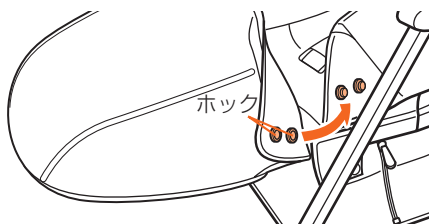
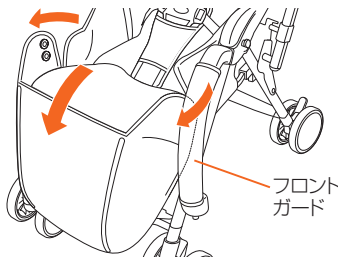
足カバーは、冬の外出時などにお子さまの足の寒さをやわらげます。

※ご使用の前に -----足カバーは梱包時に取り付けられていますが、6ヵ所のホックと中央の面ファスナーが確実に取り付けられているか確認してから使用してください。

取り付けかた

1. 着脱シート先端のホックを足乗せバーからはずす。

足乗せバーを使用していないときは、ホックははずれています。

2. 足カバー底面のホック（2ヵ所）を足乗せバー先端のホックにとめ、面ファスナーをベルトに巻きつける。

足乗せバーが収納されているときは、引き出してください。
着脱シートの先端は足カバーの中に入れてください。

3. 足カバー側面のホック（4ヵ所）を、着脱シートのホックにとめる。

- 足カバーを取り付けたままで、ベビーカーの開閉ができます。
- ベビーカーを開いたとき、足カバーにたるみやシワがある場合は内側から手で形を整えてください。
- お子さまを乗せにくい場合は下図のように、フロントガードを開いて側面のホックをはずし、足カバーを前に倒してください。
  お子さまを乗せた後は必ず足カバー側面のホックをとめ、フロントガードを閉じてください。

はずしかた

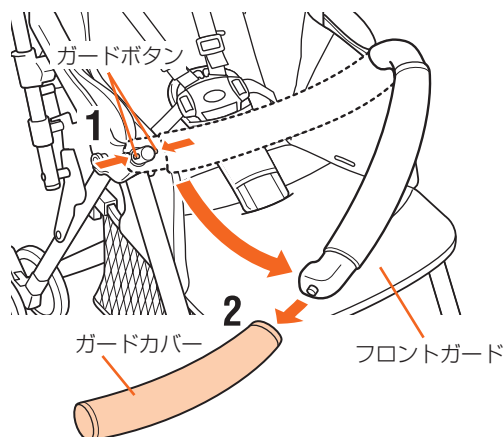
取り付けの逆の手順で取りはずす。

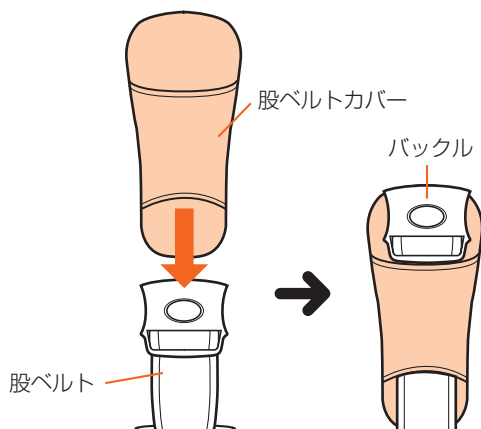
取りはずした後、足乗せバーを使用するときは、着脱シートを足乗せバー先端のホックに必ずとめてください。

ガードカバーのはずしかた

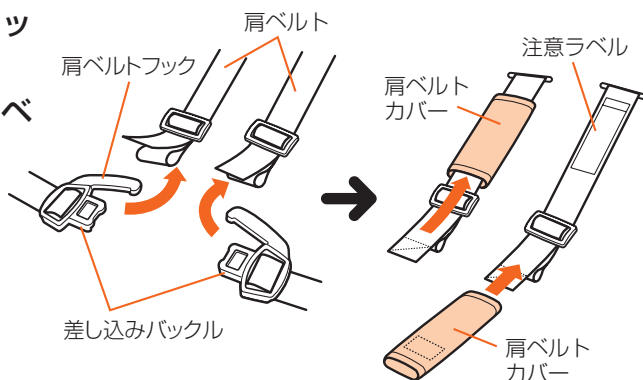
1. **ガードボタンを押しながら、フロントガードを開く。**

2. **フロントガードからガードカバーをはずす。**

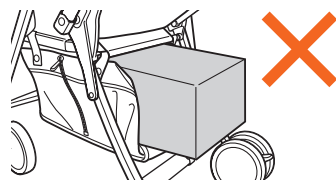
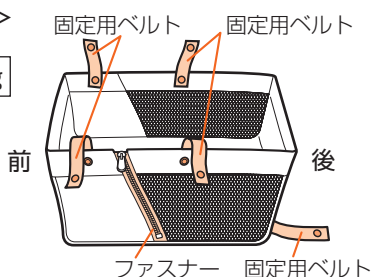
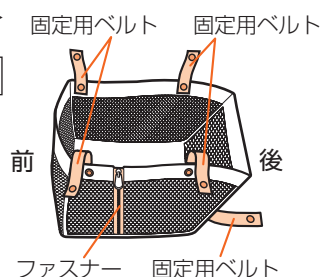
お子さまをベビーカーに乗せるときには、ガードカバーを付けてお使いになることをおすすめします。

股ベルトカバーの取り付けかた

股ベルトを股ベルトカバーに通し、バックルを出す。

肩ベルトカバーの取り付けかた（XY-600のみ）

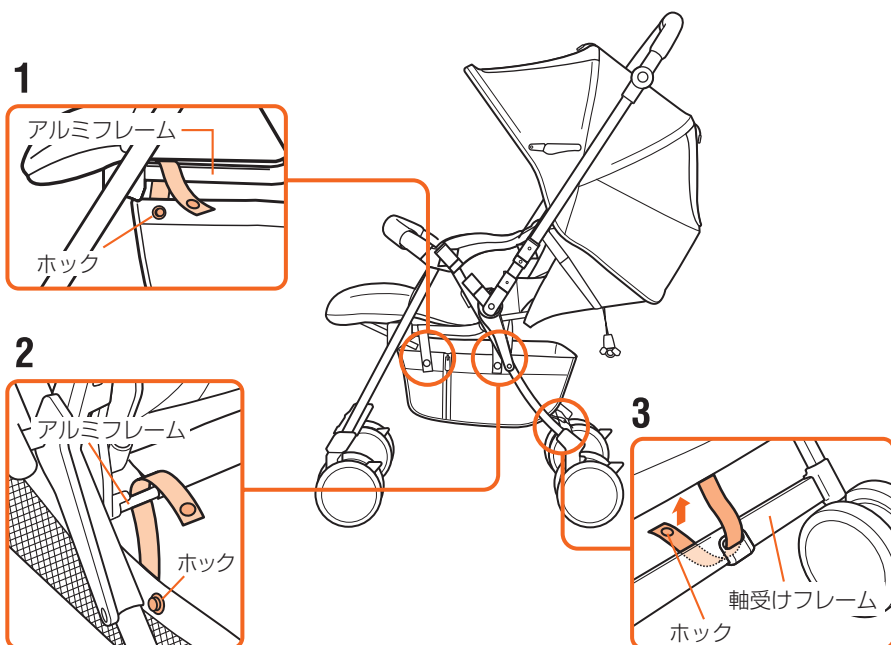
1. **差し込みバックルの肩ベルトフックから肩ベルトをはずす。**

2. **肩ベルトの表裏を確認して、肩ベルトカバーを通す。**
（カバーの中で肩ベルトがねじれていないか確認してください）

買い物カゴの取り付けかた

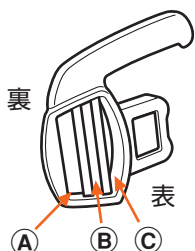
⚠注意

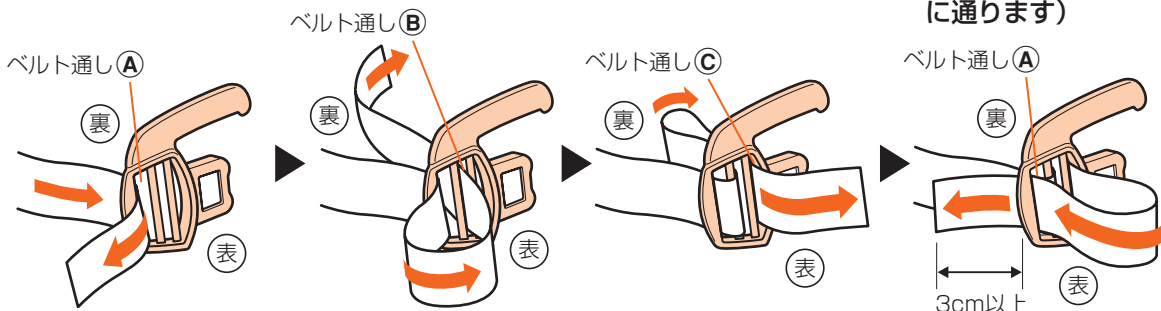
- 耐荷重以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
  ※XY-600とXY-500では耐荷重が異なります。
- 角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下やカゴの変形および破れの原因となります。
- ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。

※荷物について
●できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように乗せてください。
●荷物の出し入れには、カゴ側面のファスナーを開けると便利です。

1. **カゴの前部にある2ヵ所の固定用ベルトを、車体下部の左右にあるアルミフレームにホックでとめる。**

2. **カゴの中央部にある2ヵ所の固定用ベルトを、車体下部の後ろにあるアルミフレームにホックでとめる。**

3. **軸受けフレームの穴に買い物カゴ底面の固定用ベルトを通し、ホックをとめる。**
(※下のイラストは、XY-500です)

シートベルトの取り付けかた

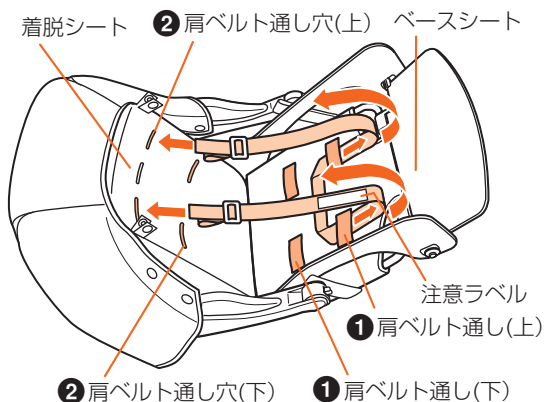
腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた

※「腰ベルトの着脱シートへの取り付けかた」については、28 ページの手順 1、2 をご覧ください。

⚠警告
差し込みバックルの取り付けかたが、不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。腰ベルトをバックルに取り付け後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

1. バックルのベルト通しⒶに腰ベルトを通す。このとき、腰ベルトはバックルの裏側から表側に向ける。
2. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒷから裏側に通す。
3. バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒸから表側に通す。
4. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶから裏側に通す。（ベルト通しⒶには腰ベルトが2重に通ります）

※ 腰ベルトの長さは、ベルトの端が 3cm 以上残るように調節してください。

肩ベルトの取り付けかた

肩ベルトは、ベースシート側の左右のベルト通し（❶）に下から通し、着脱シート側の左右の肩ベルト通し穴（❷）に通して、取り付けます。

- 肩ベルトをベースシートの肩ベルト通し（上）に通した場合、着脱シートの肩ベルト通し穴（上）に肩ベルトを通してください。また、肩ベルト通し（下）に通した場合、着脱シートの肩ベルト通し穴（下）に肩ベルトを通してください。
- リクライニングを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。
- 肩ベルトは、注意ラベル側を表にして使用してください。

着脱シートのはずしかた、取り付けかた

警告

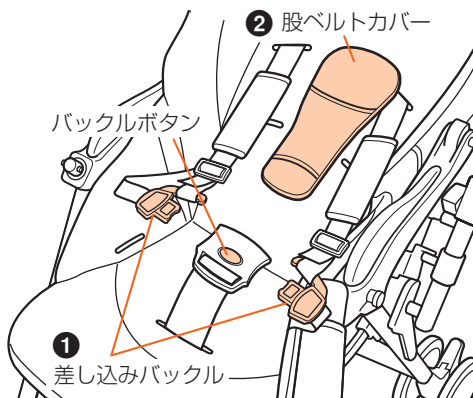
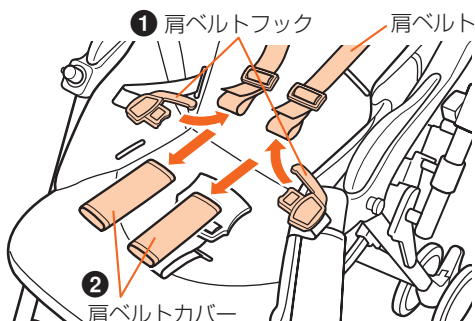
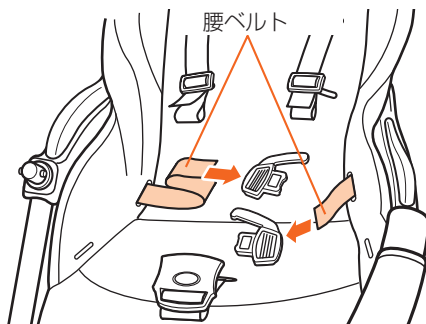
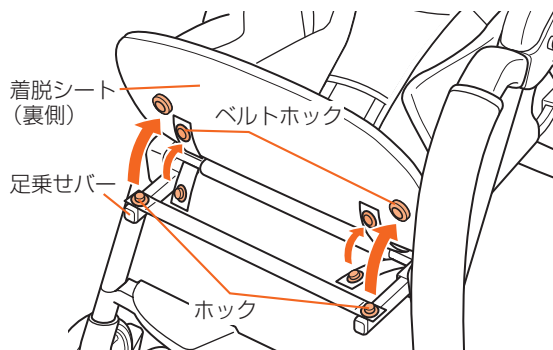
- 着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、着脱シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- 着脱シートを取り付ける際に、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガや破れなどの原因となります。

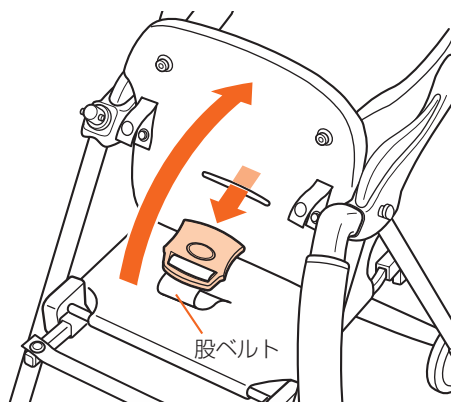
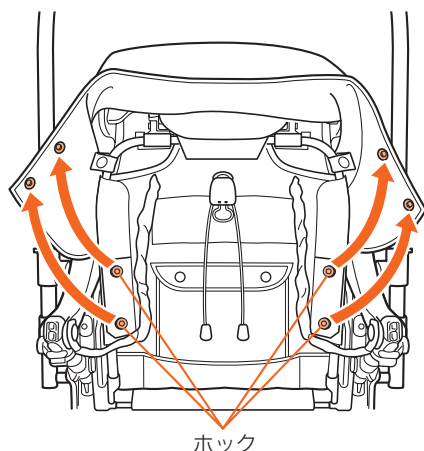
※着脱シートについて

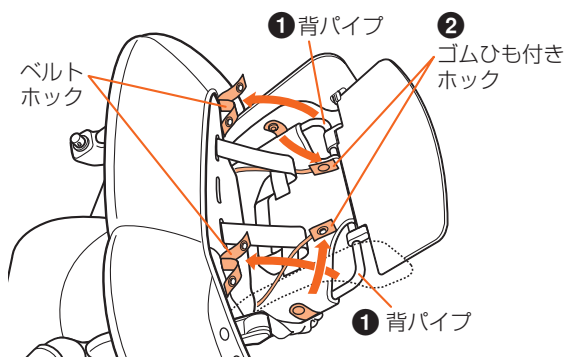
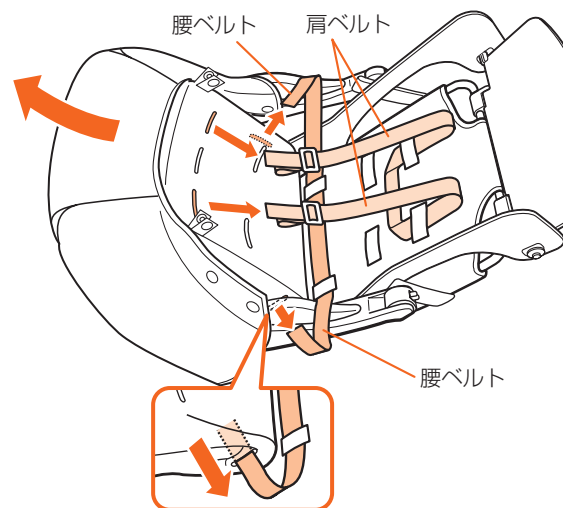
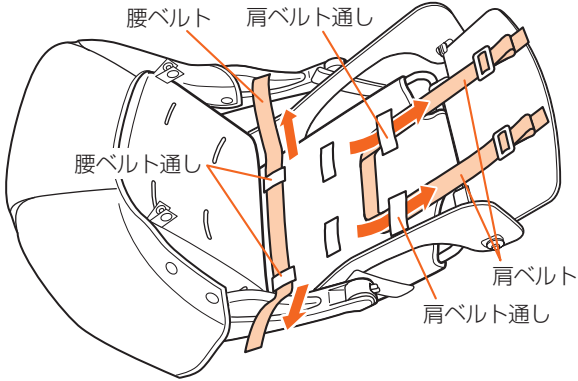
お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。メッシュ生地に引っかけて傷つけるおそれがあります。

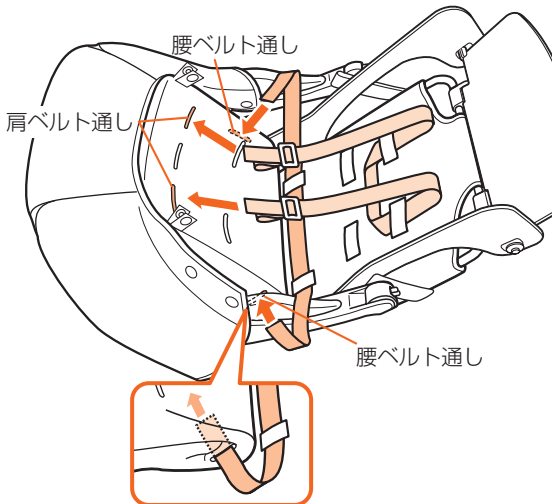
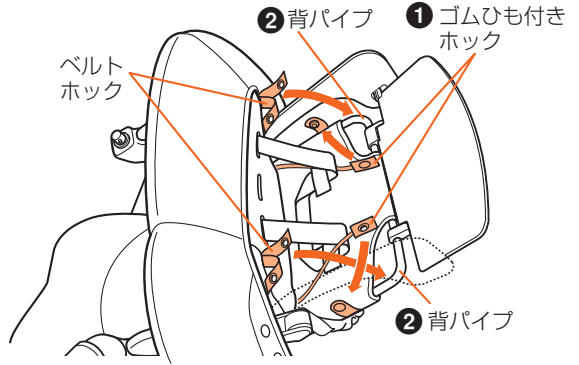
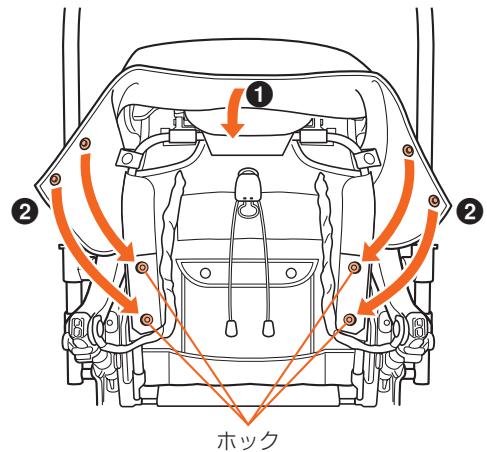
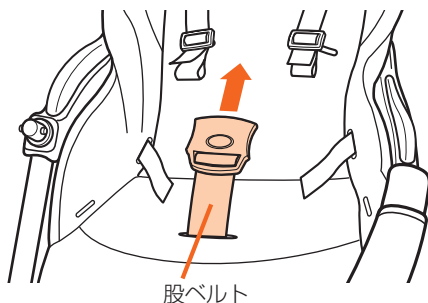
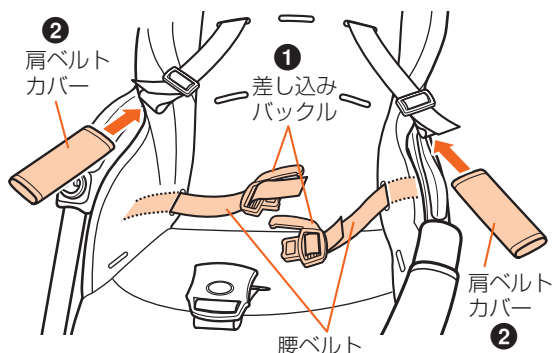
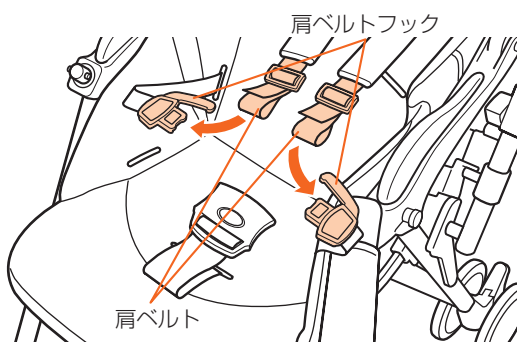
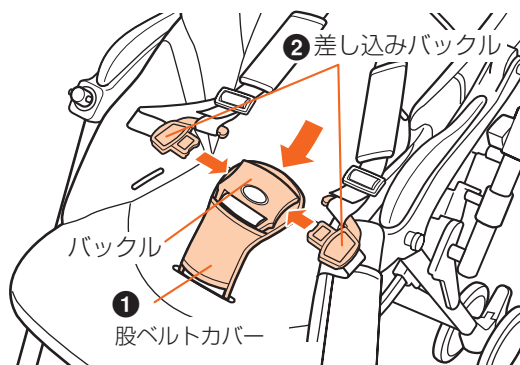
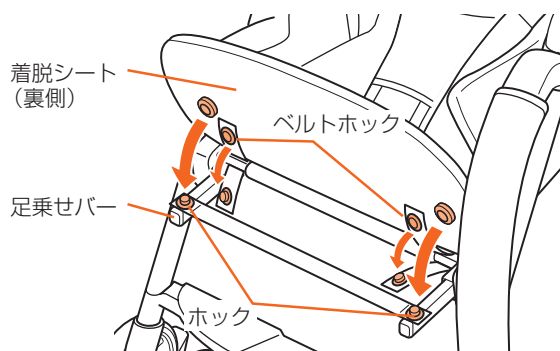
はずしかた

1. ❶バックルボタンを押して、バックルから差し込みバックルをはずし、❷股ベルトから股ベルトカバーをはずす。

❷ 股ベルトカバー
バックルボタン
❶ 差し込みバックル

2. ❶差し込みバックルの肩ベルトフック（左右）から、肩ベルトをはずす。❷肩ベルトカバーをはずす（XY-600のみ）。

3. 腰ベルトから差し込みバックルをはずす。

4. ベースシート先端のパイプにとめてあるベルトホック（2ヵ所）と足乗せバーのホック（2ヵ所）をはずして、着脱シート先端をベースシートからはずす。

足乗せバーを使用していないときは、足乗せバーのホックははずれています。

5. 着脱シートから股ベルトのバックルを引き抜く。

7. ❶ベースシートの背パイプにとめてあるベルトホック（2ヵ所）をはずし、❷ベースシート両側のゴムひも付きホック（2ヵ所）をはずす。

6. 着脱シート両側のホック（4ヵ所）をベースシートからはずす。

8. 腰ベルトと肩ベルトを引き抜き、着脱シートをベースシートからはずす。

1. ベースシートの腰ベルト通しに腰ベルトを、肩ベルト通しに肩ベルトを通す。

肩ベルトの取り付けかたについて、詳しくは 25 ページをご覧ください。

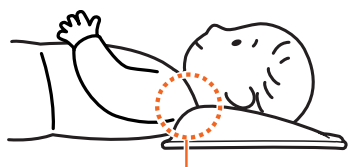
2. 着脱シートのベルト通し穴に腰ベルトと肩ベルトを通し、着脱シートの表側にベルトの先端を引き出す。

3. ❶ベースシートの両側にゴムひも付きホック（2 ヵ所）をとめ、
❷ベースシートの背パイプにベルトホック（2 ヵ所）をとめる。

4. ❶着脱シート上部をかぶせ、
❷着脱シート両側のホック（4 ヵ所）をベースシートにとめる。

5. 股ベルトを着脱シートの表側に引き出す。

6. ❶差し込みバックルの左右を確認して、腰ベルトに取り付ける。
❷肩ベルトに肩ベルトカバーを取り付ける（XY-600のみ）。

7. 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック（左右）にひっかける。

8. ❶股ベルトを股ベルトカバーに通してバックルを引き出し、
❷差し込みバックルをバックルに差し込む。

9. ベースシート先端のパイプに着脱シートのベルトホック（2ヵ所）をとめる。足乗せバーを使用するときは足乗せバーのホック（2ヵ所）をとめる。

ダッコシートαの使いかた

●ダッコシートα(ヘッドサポート、ボディ＆おしりサポート)は、お子さまの体格にあわせた取り付け位置でお使いください。

注意

- ヘッドサポートをご使用になられる場合、必ずエッグショックパッドを入れてご使用ください。
- リクライニングを起こした状態で使用する際、お子さまの頭がヘッドレストの位置にくる場合には、ヘッドサポートを使用しないでください。
- やぶれやほつれの発生したダッコシートαはそのまま使用しないでください。中のクッション材をお子さまが飲み込んだり、ダッコシートα本来の機能がはたせなくなるおそれがあります。

ヘッドサポートの取り付け位置の目安

ヘッドサポートは、お子さまの首のあたりにクッションの凸部がくるように取り付けてください。

ダッコシートαの取り付け時期の目安

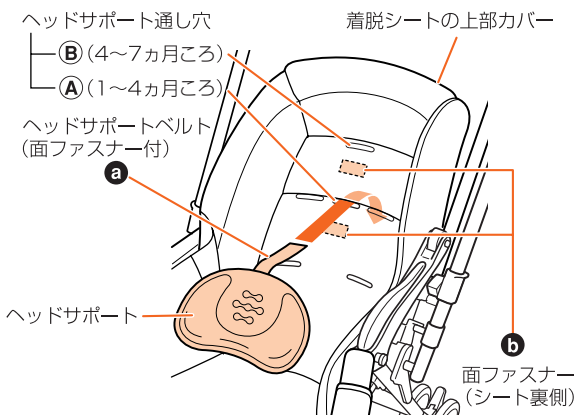
	1ヵ月〜おすわり(7ヵ月ころ※)	おすわり(7ヵ月ころ※)〜36ヵ月
ヘッドサポート	← →	
エッグショックパッド	ヘッドサポートの中	着脱シートのポケットの中
ボディ＆おしりサポート	←	→

※月齢は目安です。お子さまの発育にあわせてご使用ください。

ヘッドサポートの取り付けかた

ヘッドサポートを着脱シートに取り付ける。

ヘッドサポートベルトの面ファスナー ⓐを、ヘッドサポート通し穴に通し、着脱シート裏側の面ファスナー ⓑに取り付ける。

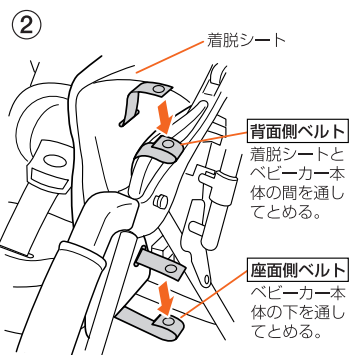
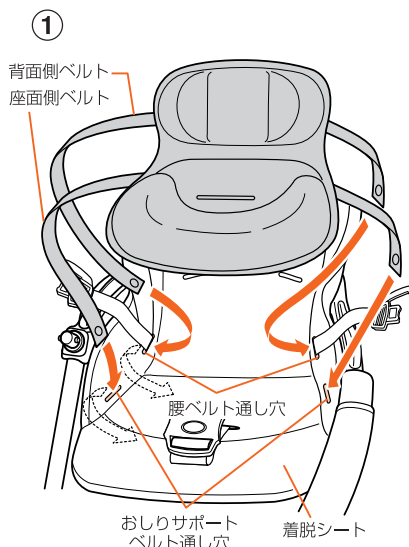
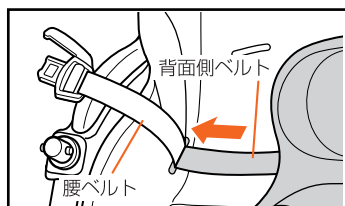
ヘッドサポートが取り付けにくい場合は、着脱シートの上部カバーをはずし、着脱シートの裏側が見えるようにして取り付けてください。

ヘッドサポート通し穴ⒶⒷの目安について

Ⓐは1ヵ月から4ヵ月ころまでの月齢のお子さま
Ⓑは4ヵ月から7ヵ月ころまでの月齢のお子さま
に使用してください。
※月齢は目安です。お子さまの発育にあわせてご使用ください。

ボディ&おしりサポートの取り付けかた

■背面側ベルト

背面側ベルトは、①着脱シート内側の腰ベルト通し穴に通して、②着脱シートとベビーカー本体の間でとめる。

（背面側ベルトは、下図のように必ず腰ベルトの内側を通してください。）

■座面側ベルト

座面側ベルトは、①着脱シート内側のおしりサポートベルト通し穴から、②ベビーカー本体の下を通してとめる。

（着脱シートと本体の間には通さないでください。）

必ず、ボディ&おしりサポートの股ベルト通し穴に股ベルトを通してください。

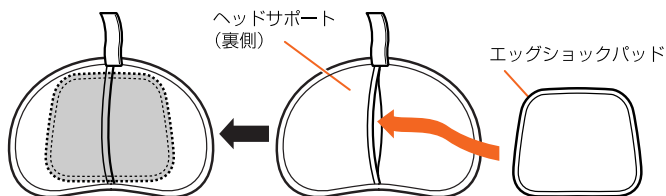
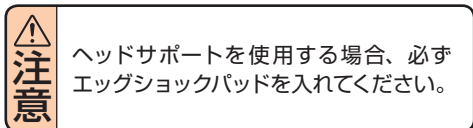
３歳未満でもお子さまの体格によっては、ボディ&おしりサポートが合わなくなることがあります。その場合は使用を中止してください。

エッグショックパッドの取り付けかた

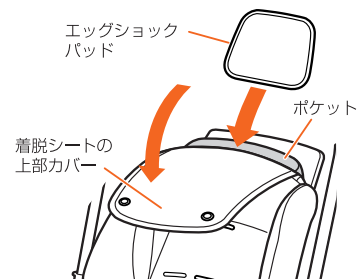
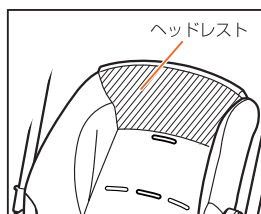
ヘッドサポートで使用するときには

●**ダッコシートαのヘッドサポートには、走行中の揺れからお子さまを守る“エッグショックパッド”を入れることができます。**

ヘッドサポートを使用する場合、必ずエッグショックパッドを入れてください。

ヘッドサポートの裏側から出し入れする。

着脱シートで使用するときには

●**お子さまの頭がヘッドレストの位置まで届くようになったときには、ヘッドサポートをはずし着脱シートのポケットに入れて使用します。**

着脱シートの上部カバーをはずし、ヘッドレスト裏側のエッグショックパッド用ポケットに出し入れする。

日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

● 着脱シート、肩ベルト、腰ベルト、ガードカバー、ダッコシートα、股ベルトカバー、肩ベルトカバー、足カバーの洗濯

- 30℃以下の液温で手洗いしてください。
- 洗濯機は使用しないでください。
- きついもみ洗いはしないでください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形をととのえて平干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

● 幌、買い物カゴの洗濯

- 幌や買い物カゴは液中につけず、30℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 幌のプラスチック部分やカゴのホックなどでケガをしないように注意してください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分を拭き取り、陰干ししてください。

※ 製品の特性上、若干色あせすることがあります。
※ 洗濯の際は、天然脂肪酸をベースとした成分で、蛍光剤・漂白剤・酵素などを含まない「コンビおむつ肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくために、こまめに洗濯することをおすすめします。
※ 保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つように心がけてください。

● エッグショックパッドについて

- エッグショックパッドは洗濯できません。
- ヘッドサポート・着脱シートを洗濯するときは、必ずエッグショックパッドを取りはずしてください。

車体の清掃について

注意 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

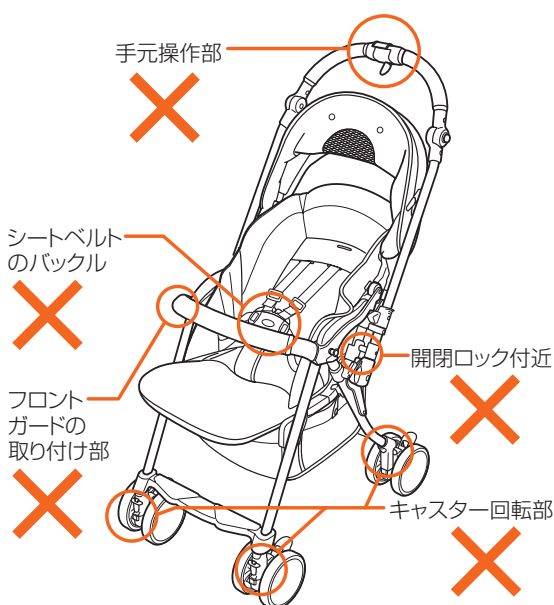
● 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

注油について

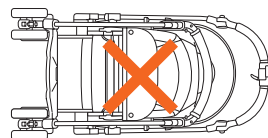
注意 お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

● きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油（シリコーン系）を少量、注油してください。
注油するときは、注油箇所の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。

● 下に示す箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

その他

保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

⚠注意
・火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
・ベビーカーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。
故障や変形の原因となります。
・ベビーカーを寝かせて保管する場合は、背面を下にしてください。
横向きに寝かせて保管をすると、故障や変形の原因となります。
・ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、キャスターを内向きにロックし、
必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが倒れやすくなります。

点検とアフターサービスについて

●ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。
お問いあわせの際は、後脚後側から見て右のパイプに貼ってあるシールをご覧になって機種名・ロット No をお知らせください。

●締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。

●危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。

●お手入れの際に取りはずした製品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。

●本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。
製品使用上は差しつかえありません。

コンシューマープラザ
(Customer Service Center)
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田 271
TEL.（048）797-1000
FAX.（048）798-6109

コンシューマープラザ
(Customer Service Center) ／西日本担当
TEL.（06）6942-0379
FAX.（06）6942-0302

廃棄方法について

お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

SG マークの被害者救済制度

SGマークが表示されたベビーカーを、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

ただし、お買い上げ日より4年以内です。

●賠償についてのご注意

- 認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

●賠償金の請求について

損害を被った消費者(お子さまなどの場合は保護者でもよい)が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定するところに届けてください。

製品安全協会　東京都台東区竜泉2丁目20番2号
ミサワホームズ三ノ輪 2階
TEL. (03) 5808-3300

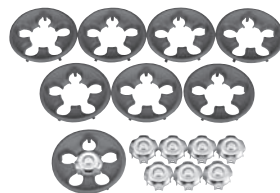
●事故賠償に必要な項目
① 事故の原因となったベビーカーの現品
イ)製品の名称、SG番号　ロ)製品の購入先、購入年月日
② 事故発生の状況
イ)事故発生年月日　ロ)事故発生場所　ハ)事故発生状況
③ 被害の状況
イ)被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
ロ)被害の状況と程度(医師の証明書)

便利なオプション（別売り）

コンパクトレインカバー

雨のときの外出や出先での急な雨などにお使いください。

※レインカバーの適合についてはカタログ・ホームページ等でご確認ください。
※写真とは仕様が異なる場合があります。

キューレットミューラー用ホイールキャップセット

ニンナナンナ 子守帯ケープ（5ウェイタイプ）

コンビ製品をご購入いただいた方へ、知って得する情報です

コンビ製品＆子育て情報サイト「コンビタウン」に会員登録すると、便利でお得なサービスがいっぱいです！

【主なサービス特典】

☆お得な情報が満載のメールマガジン
アンケート募集の他、イベントやポイントプレゼントのお知らせ、お得なコンビ製品のセール情報などをメールマガジンで会員の皆さまにお知らせします。

☆ポイントを貯めて、コンビミニでお買い物
コンビ製品の所有品登録やアンケートの回答、コンテンツへの応募などでコンビタウンポイントが貯まります。
貯まったポイントはコンビミニのお買い物ポイントとして使用可能！１ポイント＝１円として使えます。
※詳しくはＷｅｂサイトをご覧ください。

●特典内容は変更されることがあります。ご了承ください。

その他にも会員ならではの特典をご用意しております。
ご入会は「コンビタウン」Ｗｅｂサイトのトップページからお願いします。

アクセスはこちら ⇒ http://www.combibaby.com/ コンビタウン

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ（Customer Service Center）
受付時間：10時～17時（日、祝祭日、年末年始を除く）
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271 TEL.（048）797-1000 FAX.（048）798-6109
コンシューマープラザ（Customer Service Center）／西日本担当
受付時間：10時～17時（土、日、祝祭日、年末年始を除く） TEL.（06）6942-0379 FAX.（06）6942-0302
*ホームページでのご案内 http://www.combi.co.jp/cp/

124746210 10.4